

ねえねえ



井郷中学校図書館だより

令和6年度
豊田市立井郷中学校
学校図書館通信
NO.7 11月5日
学校図書館司書教諭

これ読んで

11月は なんの秋？



11月に入り、だんだんと朝夕の気温が低くなり、日没も早まってきました。校庭の金木犀も香り豊かに咲き誇っています。東門の近くに植えられているイロハモミジの木は、上の方が少し紅葉し始めました。秋が深まってきたなと感じることがたくさんあります。みなさんも毎日の登下校や学校生活の中で、いろいろな秋を見つけてみてくださいね。

秋と言えば、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、いろいろな「○○の秋」がありますが、忘れてはならないのは「読書の秋」です。秋の夜長に本をゆっくりと読み味わうこと。とてもすてきな時間の使い方だと思います。

私は国語の教師をしていますが、よく生徒のみなさんに「国語はどうやったら解けるようになりますか」という質問を受けることがあります。答えの中の一つに「さまざまなジャンルの文章を読み、何が書かれているかをじっくり考えること」があります。多くの作家さんの文章や新聞に触れれば触れるほど気づくことは、人によってそれぞれ書き方や伝え方が異なるということです。「この人は何が伝えたいのかな」そう思いながら読み進めたり、書かれている情景を想像しながら読んだりすることは、とても感性豊かになります。アナログな本の世界に、ぜひ入り込んでみましょう。

先生たちの本紹介 どの先生かわかるかな？



この本の中の
「山月記」という作品
中島敦 作

芥川好きな○○○先生の
おすすめの本



羅生門・杜子春
芥川龍之介 作

葉っぱがひらひらと落ちたのを見て、○○○○○先生が思い出した本



最後の一葉
オーランリー 作

たくさんのジャンルの
本に挑戦するピョン！

